

消防広報 Vol.41

2024.10 編集・発行／高幡消防組合消防本部

〒785-0031

高知県須崎市山手町1番7号

TEL 0889-43-1272

FAX 0889-42-9099

ホームページ <http://koban119.com>

こうばん ふれあい119 ネット

Contents

P2、P3

中土佐ジュニア消防団 特集

P4

高知県操法大会について
職場体験学習（四万十町）

CTIF 



中土佐ジュニア消防団



みなさんは、子供たちが行う消防の実技を取り入れたオリンピックがあることをご存じですか？

この度、令和6年7月19日から29日にかけて、中土佐ジュニア消防団は第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックへ国内の数ある少年消防クラブの中から選出され、イタリアへ日本代表として出場してきました。

今回は、東京都、埼玉県、兵庫県、高知県の計4つのクラブが代表として出場しており、各クラブ員5名＋指導員1名での構成となっています。中土佐ジュニア消防団からは濱吉稜さん、佐野惺志郎さん、市川笑梨さん、薦田もこさん、林真輝斗さんの計5名が参加し、様々な競技で熱戦が繰り広げられました！

大会では、消防の実技を取り入れた障害物競争や放水に使用する筒先をバトンとした400メートル障害リレーのほか、参加各国の文化・歴史等を発表する国際交流イベント等が行われました。（中土佐 市原）

青少年消防オリンピックとは？

日本国内の少年消防クラブは、約4,106クラブ、約39万人が活動しており、その育成支援は、将来の消防防災を担う人づくりとしても非常に重要なことです。

そこで、CTIF（ヨーロッパ各国を中心に組織する国際消防組織）が2年に1回ヨーロッパで開催する青少年消防オリンピックに日本からも出場することで、ヨーロッパ各国の青少年と競い、交流を深めることにより、日本の少年消防クラブの発展に役立てています。

世界大会へ出場！



対抗リレー

筒先のバトンをつないでゴールを目指します



お国自慢大会の様子

ペンライトを操るパフォーマンスで会場を盛り上げました



日本代表で記念写真



他国の選手と交流しました

中土佐ジュニア消防団のみなさん、お疲れ様でした！

高幡消防組合 池田洋光組合長から

この夏、パリオリンピックでの日本選手団の活躍ぶりが多くの感動を国民に与えてくれたことは記憶に新しいところですが、時を同じくして、イタリアで22カ国41チームが参加した「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」が開催されました。24回目となる同大会には、欧州以外から唯一の参加となった日本代表の一員として、高幡管内より中土佐ジュニア消防団の中学生5人が出席したところです。3年生1人、2年生3人(うち女子2人)、1年生1人で構成された5人は、きびきびした行動で日本代表に恥じぬ素晴らしい成果を残してくれたことを誇りに思います。とりわけ、最終日に開かれた各国お国自慢の出し物では、4種類のペンライトを巧みに操り、一糸乱れぬ素晴らしいパフォーマンスで会場を沸かせ大喝采を浴び見事優勝を果たしたことは特筆ものです。正味9日間のイタリア滞在でしたが、選手たちは競技や集団生活を通じて多くの人々とふれあい、国内では得られない貴重な体験を経て一段と逞しくなったと感じています。消防の組織は、火災や激甚化、頻発化する自然災害をはじめ様々な被害から地域を守る大きな砦です。それは全世界共通の課題であることを認識されたことと思います。イタリアで感じ学んだことは、みなさんにとって金メダルにも勝る大きな宝です。この度の経験を活かし、地域の防災力強化にもぜひご協力ください。

みなさんの今後ますますのご成長を心から願い感謝の言葉といたします。

令和6年度 『高知県消防操法大会』開催



梶原消防団第二分団



梶原消防団第二分団

6月30日に高知県消防学校において、高知県消防操法大会が開催されました。県内の消防団からポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部で予選を勝ち抜いたチームが日頃の訓練の成果を披露しました。

高幡消防組合からはポンプ車操法の部に四万十消防団松葉川分団、中土佐消防団中央分団、小型ポンプ操法の部に梶原消防団第二分団が出場しました。

ポンプ車操法の部では四万十消防団松葉川分団(四万十町)が第8位、中土佐消防団中央分団(中土佐町)が第9位、小型ポンプ操法の部では梶原消防団第二分団(梶原町)が第1位と見事な成績を収めることができました。この大会では、個人優秀賞も受賞し日頃の訓練の成果を大いに発揮してくれました。(四万十清流 菅原)

○小型ポンプ操法の部

第1位 梶原消防団第二分団

○ポンプ車操法の部

第8位 四万十消防団松葉川分団

第9位 中土佐消防団中央分団

○個人優秀賞

小型ポンプの部

梶原消防団第二分団 神明 啓太

～消防操法とは～

消防活動を行うための基本的な動作及び機械器具等の操作の習得を目指すための基本訓練です。

✿ 窪川中学校職場体験 ✿



令和6年5月8日から10日までの3日間、窪川中学校3年生による職場体験が四万十清流消防署で実施され、例年は男子中学生が多い中、今年は5名の女子中学生が参加されました。

はじめに、消防署の仕事、消防車や救急車に載っている器具、機材、消防車両の説明を受けました。その後、実際にホースを延ばして放水をしたり、救急隊による心肺蘇生法や救助隊の訓練を体験しました。

3日間を通して、中学生にとってはハードな体験でしたが、少しでも地元市民を守るという使命を感じ、生命の大切さについて考えるいい機会になったのではないかと思います。

この中から、将来の女性消防士が誕生することを期待しています。(四万十清流 常石)